

平成29年度病虫害発生予報第8号

平成29年10月31日
愛 知 県

果樹

・予報内容

作物名	病虫害名	発生量 (発生時期)	主な 発生地域	予報の根拠	予報への影響
ウンシュウミカン	ミカンハダニ	多い	県全域	10月下旬の発生量は多い	+

・防除対策

[ウンシュウミカン・ミカンハダニ]

収穫前日数に注意して、ダニエモンフロアブル、スターマイトフロアブルなどで防除しましょう。

・留意事項

豊橋では、予察灯におけるツヤアオカメムシの誘殺数がやや多い状況が続いています。カキ及びカンキツで果樹カメムシ類の発生が見られるほ場では、10月17日発表の「平成29年度病虫害発生予察注意情報第7号」を参考に収穫前日数に注意して防除しましょう。

ナシうどんこ病の発生が多くなっています。また、ナシ黒星病の発生が多いほ場もあります。罹病落葉が次作の伝染源となるので、落葉はほ場外に持ち出し処分しましょう。

ナシ、モモやカキでカイガラムシ類の発生が多いほ場では、粗皮削りを行った後にマシン油乳剤95などを丁寧に散布して防除しましょう。

野菜

・予報内容

作物名	病害虫名	発生量 (発生時期)	主な 発生地域	予報の根拠	予報への影響
ハクサイ	軟腐病	平年並	県全域	10月下旬の発生量は平年並 11月の降水量は平年並が多い	± ±～+
	べと病	平年並	県全域	10月下旬の発生量は平年並 11月の降水量は平年並が多い	± ±～+
	アブラムシ類	平年並	県全域	10月下旬の発生量は平年並	±
	コナガ	やや多い	県全域	10月下旬の発生量はやや多い フェロモントラップにおける誘殺数はやや多い	+ +
キャベツ	黒腐病	やや多い	県全域	10月下旬の発生量は平年並 10月の降水量は多かった 台風21号など強風を伴う降雨があった 11月の降水量は平年並が多い	± + + ±～+
	菌核病	やや多い	県全域	10月下旬の発生量はやや多い 11月の降水量は平年並が多い	+ ±～+
	コナガ	やや多い	県全域	10月下旬の発生量は平年並 フェロモントラップにおける誘殺数はやや多い	± +
トマト (施設)	葉かび病	平年並	県全域	10月下旬の発生量は平年並 11月の日照時間は平年並が多い	± ±～-
	黄化葉巻病	やや少ない	県全域	10月下旬の発生量はやや少ない 10月下旬のコナジラミ類の発生量は平年並	- ±
	コナジラミ類	平年並	県全域	10月下旬の発生量は平年並	±

作物名	病害虫名	発生量 (発生時期)	主な 発生地域	予報の根拠	予報への影響
ナス (施設)	うどんこ病	平年並	県全域	10月下旬の発生量は平年並	±
	ミナミキイロ アザミウマ	平年並	県全域	10月下旬の発生量は平年並	±
キュウリ (施設)	うどんこ病	やや少ない	県全域	10月下旬の発生量はやや少ない	—
	べと病	平年並	県全域	10月下旬の発生量は平年並 11月の日照時間は平年並が多い	± ±～—
	ミナミキイロ アザミウマ	平年並	県全域	10月下旬の発生量は平年並	±
イチゴ (施設)	うどんこ病	少ない	県全域	10月下旬の発生量は少ない	—
	ハダニ類	平年並	県全域	10月下旬の発生量は平年並	±
野菜共通	ハスモンヨトウ	やや多い	県全域	10月下旬の発生量は平年並 フェロモントラップにおける誘 殺数はやや多い	± +
	オオタバコガ	やや多い	県全域	10月下旬の発生量は平年並 フェロモントラップにおける誘 殺数はやや多い	± +

・防除対策

[ハクサイ・コナガ]

収穫前日数に注意して、ディアナSCやコテツフロアブルなどで防除しましょう。

[キャベツ・黒腐病]

本日発表の「平成29年度病害虫発生予察注意報第8号」を参照してください。

[キャベツ・菌核病]

本日発表の「平成29年度病害虫発生予察注意報第9号」を参照してください。

[キャベツ・コナガ]

収穫前日数に注意して、ディアナSCやコテツフロアブルなどで防除しましょう。

[野菜共通・ハスモンヨトウ]

収穫前日数に注意して、ディアナSC（キャベツ、ハクサイ）やコテツフロアブル（キャベツ）などで防除しましょう。野菜類はフローバックDFなどで防除しましょう。

〔野菜共通・オオタバコガ〕

9月1日発表の「オオタバコガ情報第2号」を参考にしてください。

・留意事項

虫媒伝染性ウイルス病のトマト黄化葉巻病（TYLCV）やトマト黄化病（ToCV）、キュウリ黄化えそ病（MYSV）が発生しているほ場では、発病株を抜き取り適切に処分するとともに、媒介虫（トマト黄化葉巻病はタバココナジラミ、トマト黄化病はコナジラミ類、キュウリ黄化えそ病はミナミキイロアザミウマ）の防除を徹底しましょう。

イチゴのハダニ類の発生量は平年並ですが、多発しているほ場があります。多発すると防除が難しくなるので、発生を確認したら、速やかに系統の異なる薬剤でローテーション防除しましょう。

参考

東海地方 1か月予報（名古屋地方気象台10月26日発表）

〈予想される向こう1か月の天候〉

平年に比べ晴れの日が多いでしょう。

向こう1か月の平均気温は、平年並の確率50%です。降水量は、平年並または多い確率ともに40%です。日照時間は、平年並または多い確率ともに40%です。

週別の気温は、1週目は、平年並または低い確率ともに40%です。2週目は、平年並の確率50%です。

〈向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率〉

〔気温〕 低い：30% 平年並：50% 高い：20%

〔降水量〕 少ない：20% 平年並：40% 多い：40%

〔日照時間〕 少ない：20% 平年並：40% 多い：40%

「農薬使用者のみなさんへ」

- 飛散防止にこれまで以上に留意し、農薬の適正使用に努めましょう。
- 農薬使用前にはラベルの内容を確認しましょう。
- 農薬散布後は、防除器具のタンクやホースも洗いもれがないようにしましょう。
- 農薬は、安全な場所に鍵をかけて保管しましょう。
- 農薬の使用状況を帳簿に記載しましょう。
- 農薬の空容器は、ほ場などに放置せずに適切に処理しましょう。